

行政改革の進捗状況と

今後の進め方について



増田 雅伸

問 行政改革にあたり集中改革プランで、5ヶ年間の具体的な行動計画69項目が掲げられています。現在の行政改革の進捗状況は

職員の意識改革も

答 平成17年8月に行政改革推進委員会を設置し14名の委員の皆様に行行政改革推進のチェック役としてご指導、ご意見をお願いしています。本年度は推進委員会を2回開催し進捗状況と取り組み内容などの報告をしました。3月にもう一度開催し実施状況報告と平成19年度の取り組み姿勢を聴取する予定と聞いています。また、推進委員会の中に小委員会を設け、取り組み項目について検討をしたいとの意見から本年度は「補助金の取扱い」について協議し、近く提案書がいただけると聞いて

います。執行部としても歳出削減に向けて、職員の意識改革を含め努力をし、特に重点項目の「給食センターの取り扱い」については早々に検討会を立ち上げ、民間委託を含めた検討を行い、2月に結果報告を受けております。

地事例などを参考にシステムを構築してまいります。集中改革プランの目標値達成に向けて、職員一丸となって取り組み、一層、市民満足度を上げるために改革を進めてまいります。

問 今後の行政改革をどのように進めていくのか

答 無駄を省くことはもちろんですが、少ないコスト・限られた財源の中で質の高い行政サービスを提供するための改革を推進し、予算獲得型から成果重視型への転換を図ることから行政評価を徹底していきたいと考えております。本年は「事務事業評価」を試行的に実施しましたが、今後はそれを活用できるように先進

事例などを参考にシステムを構築してまいります。集中改革プランの目標値達成に向けて、職員一丸となって取り組み、一層、市民満足度を上げるために改革を進めてまいります。



スズキ自動車進出に伴う企業誘致について

ビックプロジェクトに対応できる受入れ体制は企業誘致達成の中・長期目標は



西島 昌和

問 スズキの進出は御前崎市にとり、チャンスと捉えて進出希望企業の求めに迅速な素早い取り組みのできる受入れ体制づくりが必要と考えるが

答 進出希望企業に迅速に対応するには、用地確保が最も必要です。可能性調査の全ての土地でなく計画に基づき地権者のご理解を得て同意書や承諾書を頂くことも一方法と考えます。企業の建設計画提出から工事完了まで2〜3年程が予想され、今後も適地調査箇所や以外の場所も用地確保に向けて努力していきます。

地箇所を検討中です。

問 御前崎市企業立地推進委員会の機動的且つ迅速な活用は

答 委員会は企業立地を円滑に推進し情報の共有化や早期対応を図るよう設置しました。進出希望企業の課題に迅速な対応を目標にし、今後は民間情報提供や、企業立地への成功報酬制度などの支援策も検討していきます。

問 池新田工業団地以外の工場適地に進出企業からの求めに対し行政の関わりは

答 市の対応は、用地問題等、企業の意見を優先しながら、市でやれる事はやるよう、今職員と話しをしており、企業の求める中身について、企業の手となり足となり、ぜひ当市に進出してもらえるよう努力しております。

問 適地調査結果からの位置付けと今後の進め方は

答 適地調査から2箇所を候補地と位置付け、19年度に1箇所の基本計画を作成し、以外にも工場用

問 企業誘致を達成する中・長期の目標は

答 今後は固定資産税などの減収により、厳しい財政状況も予想されます。企業誘致達成には他市の優遇制度を見極め、用地取得の補助制度の拡充や税の支援策などを充実させ企業誘致を計画的に進めてまいります。

問 工場適地を、当面の需要や将来的対応など考慮し、新規適地を総合的に選定する必要があるか

答 鈴木修会長から工場用地や雇用問題、社員の住宅用地等話を頂いており、今、マップを作り今後スズキさんに示していきたいと考え、この適地を既存の企業にも示しながら進めていきたいと思っております。

作成し、以外にも工場用

めてまいります。